

「第十三回このす花火大会」で自衛隊をPR

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 山口英章一等空佐）は、さいたま地域事務所（所長 日下透一等陸尉）担当により十月十一日（土）、鴻巣市商工会主催の「第十三回このす花火大会」において、広報活動を実施した。

このす花火大会は、例年約四十万人が訪れる花火大会であるが、今回は特に、「正四尺玉」打ち上げ花火のギネスブック記録に挑戦することもあり、例年以上の約六十万人もの観客が訪れた。

自衛隊ブースには、サイポン（りく）が登場し、ミニ制服等の試着及び戦闘糧食を展示し自衛隊を広報した。

多くの家族連れでブースは賑わい、子供達からは「サイポン、かわいい」と歓声があがり、一緒に写真に納まる姿が多く見られた。また、ミニ制服を着て「かっこいい」と喜んでもらえた。なかには、「私も着たい！」と子供用のミニ制服に身を包むお母さんが登場し、周りを驚かせていた！

花火が打ち上げられるまでの短い時間ではあったが、未来の自衛官の卵たちに、自衛隊をアピールする事ができた。

「正四尺玉」打ち上げ花火もギネスブック世界記録に見事認定され、大いに賑わった花火大会であった。

埼玉地方協力本部は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、募集基盤の強化を図って行きたいと考えている。



神川町コスモスまつりで自衛隊をPR

埼玉地方協力本部（本部長 山口英章一等空佐）は、熊谷地域事務所（所長 大谷直之一等陸尉）担当により十月十九日（日）、神川ゆくゆくランドで実施された「2014 神川町コスモスまつり」において、募集ブースを開設し広報活動を実施した。

コスモスまつりは県内から集まったよさこいソーラン団体の競演、地元農業者団体で作った農作物販売などが催され、公園内いっぱい広がるコスモスの開花に合わせ毎年行われる一大イベントである。

ブースでは陸上自衛隊の装備品である高機動車の展示や、八八式鉄帽や防弾チョッキの試着を実施し、たくさんの来場者で賑わった。ブースを訪れた中学生からは「自衛隊車両の多機能に驚きました。僕も重い防弾チョッキを着て装備車両に乗りみたい！」と強い関心を示していた。さらに広報官の丁寧な説明により、将来自衛隊の試験を受けたいと受験を決意してもらえる等、募集広報は十分な成果を上げることができた。

埼玉地方協力本部は今後も地域のイベントに積極的に参加し、効果的な広報活動を実施していく。

